

「日本の偉大なトイレ」～日本のトイレ (TOTO) の進化に見る日本～

2017年3月8日(水) 実施 JGA 第一支部研修 終了レポート

3月8日(水曜日) 13:30 から 16:30 まで新宿にあります TOTO テクニカルセンター東京にて、JGA 第一支部主催の「日本の偉大なトイレ」研修が開催されました。出席者は26名(JGA 会員23名、非会員1名、運営委員2名)、会場は満席です。クラシック音楽の流れるロビーからは、優雅で清潔な雰囲気が漂います。本日の講師は TOTO 株式会社 グローバル・リレーション推進グループの伴瀬克弥様です。



研修は二部構成になっていました。第1部は日本のトイレ事情につきまして、講師が用意して下さった資料に沿って講義が進みました。TOTO 株式会社の概要説明のあと、まず基本的な質問が講師からありました。「世界のトイレと日本のトイレはどこが違うのか？」答えは「とにかくきれい、しかも無料。90 パーセント以上の外国の方が日本のトイレはきれいという印象をもつ」とのことです。海外のトイレは防犯も含めて個室とはいえません。有料のところも多い。日本

では高速道路のサービスエリアでさえもレストルームがあり、トイレ=単なる排泄の場ではなく、くつろぎ+おもてなしの場があります。きれいなトイレのある施設には集客力もあります。そのあと、Washlet の興味深い誕生秘話を伺い、会場内から感嘆の声が。



休憩をはさみ、14:50 からの第二部はプロの設計者向けの展示場の見学です。2 グループに分かれ、東京プレゼンテーショングループの徳永様と住田様にそれぞれ最新のトイレ設備や技術をご紹介いただきました。水を流すのに以前は13Lで流していたのが、



現在は大洗浄 3.8L、小洗浄 3.3L (Eco 小洗浄時は 3.0L) のトイレがラインナップされていて、節水技術が進んでいます。汚れがつきにくい表面加工技術や除菌機能など、より清潔で掃除のしや

すい便器、多機能トイレ等々、技術の粋を興味深く拝見しました。感心したのは「使う人、手入れをする人」の立場からの視点です。

その後会場に戻り、伴瀬様は受講者からの活発な質問にご丁寧にご回答くださいました。16:30 すぎに研修は一旦終了、そのあと 16:40 から情報交換会を行い、8名が参加しました。どうしたら海外からのお客様に使用していただけるか。現在の業務の中で生きた意見が交わされ、17:30 に終了いたしました。

私たち通訳案内士にとってトイレの話題はもはやタブーではなく、むしろ日本のハイテク技術として自信をもってお薦めできるトピックであると学びました。明日の業務からでもすぐに生かすことのできる貴重な講義・研修でした。